

(様式2(1))

事業所名 グループホーム そよかぜ

## 目標達成計画

作成日：平成26年2月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	現在の事業所理念は、地域密着型サービスの意義をふまえた理念とは言い難い。したがって職員は地域交流や、地域と共に入居者を支えるという意識が希薄である。実際に地域とのつながりも少ない。	職員一人一人が、入居者を地域と共に支える重要性を理解し、地域交流を積極的に行い、地域と共に事業所を運営していく。	職員と話し合い、理念とは別に方針を新たに作成し、地域密着型サービスの意義を理解する。	3ヶ月
2	26	介護計画は3ヶ月に1回は見直しを行っているが、モニタリングが不十分である。	日々のケアの内容を見直す機会を作り、介護計画の見直し時に活用できるようにする。	見直したケアの内容を介護計画に活かせるよう記録に残し、より実際のケアに則した介護計画を作成し実践する。	3ヶ月
3	10	家族からの意見や要望、苦情に対しては個々の問題として対応し、取り組んでいるが、出された意見・要望・提案・苦情のデーター分析と課題抽出ができておらず、サービスの質の向上につながっていない。	家族からの意見・要望・提案・苦情をデーター集積し、データー分析により課題を抽出しサービスの質の向上に活かす。	データー集積・分析の具体的な方法を検討し、家族の意見等が事業所運営により反映できる体制を作る。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。